

2019年度

第2四半期決算(中間決算)説明資料

株式会社 大 光 銀 行

## 【目 次】

## I. 2019年度第2四半期決算(中間決算)の概況

1. 損益状況	単	.....	(1)
	連	.....	(2)
2. 業務純益	単	.....	(3)
3. 主要勘定残高	—	.....	(3)
(1) 未残	単	.....	(3)
(2) 平残	単	.....	(3)
4. 利鞘	—	.....	(4)
(1) 全店分	単	.....	(4)
(2) 国内業務部門分	単	.....	(4)
5. ROE	単	.....	(5)
6. 有価証券関係損益	単	.....	(5)
7. 自己資本比率(国内基準)	単・連	.....	(6)

## II. 貸出金等の状況

1. 金融再生法開示債権	単	.....	(7)
2. 金融再生法開示債権の保全状況	単	.....	(7)
3. リスク管理債権の状況	単・連	.....	(8)
4. 償却・引当基準と引当状況	単	.....	(9)
5. 貸倒引当金等の状況	単・連	.....	(9)
6. 自己査定状況	単	.....	(10)
7. 自己査定・保全の状況と開示債権	単	.....	(10)
8. 業種別貸出状況等	—	.....	(11)
(1) 業種別貸出金	単	.....	(11)
(2) 業種別リスク管理債権	単	.....	(11)
(3) 消費者ローン残高	単	.....	(12)
(4) 中小企業等貸出比率	単	.....	(12)
9. 預金等、貸出金の残高	—	.....	(13)
(1) 未残	単	.....	(13)
(2) 平残	単	.....	(13)
10. 預り資産(未残)の状況	単	.....	(13)

## III. 有価証券の評価損益

1. 有価証券の評価基準	単・連	.....	(14)
2. 評価損益	単・連	.....	(14)

## IV. 2020年3月期業績予想

1. 単体	単	.....	(15)
2. 連結	連	.....	(15)

(注) 1. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 「2019年度第2四半期決算(中間決算)の概況」以下の2018年9月期比、2018年9月末比、2019年3月末比欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

I. 2019年度第2四半期決算(中間決算)の概況

1. 損益状況

●コア業務純益は、資金利益が減少したことなどにより、前年同期比6億56百万円減少の12億53百万円となりました。また、投資信託解約損益を除くコア業務純益は、前年同期比6億78百万円減少の9億42百万円となりました。
●実質業務純益は、前年同期比6億36百万円減少の14億43百万円となりました。
●経常利益は、株式等関係損益が増加したものの、前年同期比5億10百万円減少の14億69百万円となりました。
●中間純利益は、前年同期比5億1百万円減少の7億37百万円となりました。

【単体】

(単位：百万円)

	2019年9月期	2018年9月期比	2018年9月期
業務粗利益	7,898	△563	8,461
(コア業務粗利益)	(7,708)	(△583)	(8,291)
国内業務粗利益	7,703	△458	8,161
資金利益	7,283	△374	7,657
役務取引等利益	251	△36	287
その他業務利益 (うち国債等債券関係損益)	168 (189)	△48 (19)	216 (170)
国際業務粗利益	194	△105	299
資金利益	185	△101	286
役務取引等利益	1	△1	2
その他業務利益 (うち国債等債券関係損益)	7 (-)	△4 (-)	11 (-)
経費(除く臨時処理分)	6,454	73	6,381
人件費	3,557	33	3,524
物件費	2,535	46	2,489
税金	361	△6	367
実質業務純益	1,443	△636	2,079
コア業務純益	1,253	△656	1,909
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	942	△678	1,620
①一般貸倒引当金繰入額	37	37	-
業務純益	1,406	△673	2,079
うち国債等債券関係損益	189	19	170
臨時損益	63	163	△100
②不良債権処理額	318	△12	330
貸出金償却	251	△79	330
個別貸倒引当金繰入額	63	63	-
偶発損失引当金繰入額	-	-	-
債権等売却損	3	3	0
(貸倒償却引当費用①+②)	356	26	330
株式等関係損益	451	259	192
③貸倒引当金戻入益	-	△14	14
④偶発損失引当金戻入益	11	△10	21
⑤償却債権取立益	125	38	87
その他臨時損益	△206	△121	△85
経常利益	1,469	△510	1,979
特別損益	△231	△229	△2
固定資産処分益	9	9	-
固定資産処分損	20	18	2
減損損失	221	221	-
税引前中間純利益	1,237	△739	1,976
法人税、住民税及び事業税	326	△266	592
法人税等調整額	174	28	146
法人税等合計	500	△238	738
中間純利益	737	△501	1,238
(参考)実質与信関係費用(①+②-③-④-⑤)	219	12	207

(注) 1. コア業務粗利益=業務粗利益-国債等債券関係損益

2. コア業務純益=業務純益-国債等債券関係損益+一般貸倒引当金繰入額

【連結】

<連結損益計算書ベース>

●親会社株主に帰属する中間純利益は、単体の業績を主因として前年同期比5億22百万円減少の7億42百万円となりました。

(単位：百万円)

	2019年9月期		2018年9月期
	2018年9月期比		
連結粗利益	8,004	△553	8,557
資金利益	7,480	△477	7,957
役務取引等利益	296	△28	324
その他業務利益	227	△49	276
営業経費	6,520	△7	6,527
①貸倒償却引当費用	383	53	330
貸出金償却	252	△78	330
個別貸倒引当金繰入額	85	85	—
一般貸倒引当金繰入額	42	42	—
偶発損失引当金繰入額	—	—	—
債権等売却損	3	3	0
株式等関係損益	451	259	192
②貸倒引当金戻入益	—	△4	4
③偶発損失引当金戻入益	11	△10	21
④償却債権取立益	125	38	87
持分法による投資損益	4	△18	22
その他経常損益	△207	△209	2
経常利益	1,484	△545	2,029
特別損益	△231	△229	△2
税金等調整前中間純利益	1,253	△774	2,027
法人税、住民税及び事業税	338	△266	604
法人税等調整額	165	20	145
法人税等合計	504	△245	749
中間純利益	748	△529	1,277
非支配株主に帰属する中間純利益	6	△7	13
親会社株主に帰属する中間純利益	742	△522	1,264
(参考)実質与信関係費用(①-②-③-④)	246	29	217

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(参考)

(単位：百万円)

連結業務純益	1,446	△673	2,119
--------	-------	------	-------

(注) 連結業務純益 = 単体業務純益 + 子会社業務純益(勘定修正) - 内部取引

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	1	—	1
持分法適用会社数	1	—	1

2. 業務純益【単体】

（単位：百万円）

	2019年9月期		2018年9月期
		2018年9月期比	
(1) 実質業務純益	1,443	△636	2,079
職員一人当たり（千円）	1,621	△755	2,376
(2) コア業務純益	1,253	△656	1,909
職員一人当たり（千円）	1,408	△774	2,182
(3) 業務純益	1,406	△673	2,079
職員一人当たり（千円）	1,579	△797	2,376

（注）1. コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額

2. 職員数は、期中平均人員（出向者を除く）で計算しております。

3. 主要勘定残高【単体】

(1) 末残

（単位：百万円）

	2019年9月末		2018年9月末
		2018年9月末比	
資金運用勘定残高	1,423,106	20,370	1,402,736
うち貸出金	1,051,757	19,124	1,032,633
うち有価証券	365,494	1,267	364,227
うちコールローン	—	—	—
資金調達勘定残高	1,484,777	58,151	1,426,626
うち預金	1,346,897	16,343	1,330,554
うち譲渡性預金	48,418	△21,393	69,811
うち借入金	50,200	19,700	30,500
うちコールマネー	723	42	681

(2) 平残

（単位：百万円）

	2019年9月期		2018年9月期
		2018年9月期比	
資金運用勘定残高	1,389,652	22,248	1,367,404
うち貸出金	1,030,515	24,685	1,005,830
うち有価証券	350,997	△1,284	352,281
うちコールローン	327	218	109
資金調達勘定残高	1,440,577	53,478	1,387,099
うち預金	1,306,101	11,760	1,294,341
うち譲渡性預金	44,910	△5,265	50,175
うち借入金	44,242	13,772	30,470
うちコールマネー	699	82	617

4. 利鞘【単体】

(1) 全店分

(単位：%)

	2019年9月期	2018年9月期比	2018年9月期
	資金運用利回 (A)	1.10	△0.09
貸出金利回 (B)	1.08	△0.08	1.16
有価証券利回	1.17	△0.13	1.30
資金調達利回 (C)	0.03	△0.00	0.03
預金等利回	0.03	△0.00	0.03
外部負債利回	0.02	△0.01	0.03
預金等原価 (D)	0.95	△0.01	0.96
資金調達原価 (E)	0.92	△0.03	0.95
資金運用調達利回差 (A) - (C)	1.07	△0.08	1.15
預貸金利鞘 (B) - (D)	0.12	△0.07	0.19
総資金利鞘 (A) - (E)	0.17	△0.07	0.24

(2) 国内業務部門分

(単位：%)

	2019年9月期	2018年9月期比	2018年9月期
	資金運用利回 (A)	1.08	△0.07
貸出金利回 (B)	1.08	△0.08	1.16
有価証券利回	1.16	△0.07	1.23
資金調達利回 (C)	0.03	△0.00	0.03
預金等利回	0.03	△0.00	0.03
外部負債利回	0.00	0.00	0.00
預金等原価 (D)	0.95	△0.00	0.95
資金調達原価 (E)	0.92	△0.03	0.95
資金運用調達利回差 (A) - (C)	1.04	△0.07	1.11
預貸金利鞘 (B) - (D)	0.13	△0.07	0.20
総資金利鞘 (A) - (E)	0.15	△0.05	0.20

5. ROE【単体】

(単位：%)

	2019年9月期	2018年9月期比	2018年9月期
	コア業務純益ベース	3.06	△1.55
実質業務純益ベース	3.52	△1.50	5.02
業務純益ベース	3.43	△1.59	5.02
経常利益ベース	3.59	△1.19	4.78
中間純利益ベース	1.80	△1.19	2.99

(注) 分母となる自己資本平均残高は、{(期首純資産－期首新株予約権) + (期末純資産－期末新株予約権)} ÷ 2で算出しております。

6. 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	2019年9月期	2018年9月期比	2018年9月期
	国債等債券関係損益(5勘定戻)	189	19
売却益	827	335	492
償還益	—	—	—
売却損	35	△43	78
償還損	602	358	244
償却	—	—	—
株式等関係損益(3勘定戻)	451	259	192
売却益	558	366	192
売却損	50	50	—
償却	56	56	—

7. 自己資本比率(国内基準)

自己資本比率(国内基準)は、銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行が保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)に基づき算出しております。

●2019年9月末の自己資本比率(国内基準)[速報値]は、単体が8.96%、連結が8.98%となりました。いずれも規制値(4%)を大きく上回り、十分な水準を維持しております。

【単体】

(単位:百万円)

	[速報値]			2019年3月末	2018年9月末
	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比		
(1) 自己資本比率(2)／(3)	8.96%	0.06%	△0.10%	8.90%	9.06%
(2) 自己資本 ①－②	70,636	277	654	70,359	69,982
コア資本に係る基礎項目 ①	72,071	584	1,382	71,487	70,689
コア資本に係る調整項目 ②	1,434	306	728	1,128	706
(3) リスク・アセット	787,837	△2,449	16,053	790,286	771,784
(4) 総所要自己資本額 (3)×4%	31,513	△98	642	31,611	30,871

【連結】

(単位:百万円)

	[速報値]			2019年3月末	2018年9月末
	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比		
(1) 自己資本比率(2)／(3)	8.98%	0.06%	△0.11%	8.92%	9.09%
(2) 自己資本 ①－②	71,013	296	660	70,717	70,353
コア資本に係る基礎項目 ①	72,322	573	1,250	71,749	71,072
コア資本に係る調整項目 ②	1,308	276	590	1,032	718
(3) リスク・アセット	790,186	△2,272	16,257	792,458	773,929
(4) 総所要自己資本額 (3)×4%	31,607	△91	650	31,698	30,957



## II. 貸出金等の状況

・未収利息不計上基準

自己査定で「破綻先」「実質破綻先」及び「破綻懸念先」に分類した債務者は、未収利息をすべて収益不計上として開示しております。

### 1. 金融再生法開示債権【単体】

(単位：百万円)

		2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
金融再生法開示債権	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,590	94	△49	4,496	4,639
	破綻先債権	602	101	56	501	546
	実質破綻先債権	3,988	△6	△104	3,994	4,092
	危険債権	14,692	△311	△1,272	15,003	15,964
	要管理債権	638	301	77	337	561
	小計(A)	19,922	85	△1,243	19,837	21,165
	正常債権	1,043,230	3,015	23,352	1,040,215	1,019,878
	債権額合計	1,063,152	3,100	22,109	1,060,052	1,041,043

(単位：%)

		2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
債権残高構成比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.43	0.01	△0.02	0.42	0.45
	破綻先債権	0.06	0.01	0.01	0.05	0.05
	実質破綻先債権	0.38	△0.00	△0.01	0.38	0.39
	危険債権	1.38	△0.04	△0.15	1.42	1.53
	要管理債権	0.06	0.03	0.01	0.03	0.05
	小計	1.87	0.00	△0.16	1.87	2.03
	正常債権	98.13	△0.00	0.16	98.13	97.97
	債権額合計	100.00	—	—	100.00	100.00

### 2. 金融再生法開示債権の保全状況【単体】

(単位：百万円)

		2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
保全額 (B)		16,363	△48	△1,240	16,411	17,603
貸倒引当金		2,964	△8	△48	2,972	3,012
担保保証等		13,399	△40	△1,191	13,439	14,590

(単位：%)

保全率(B) / (A)	82.14	△0.59	△1.03	82.73	83.17
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

3. リスク管理債権の状況

【単体】

(単位:百万円)

		2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
リスク管理債権	破綻先債権額	594	104	53	490	541
	延滞債権額	18,514	△322	△1,382	18,836	19,896
	3カ月以上延滞債権額	105	69	31	36	74
	貸出条件緩和債権額	533	233	47	300	486
	合計	19,747	84	△1,252	19,663	20,999

(部分直接償却額) (3,160) (△181) (△824) (3,341) (3,984)

貸出金残高(未残)	1,051,757	1,545	19,124	1,050,212	1,032,633
-----------	-----------	-------	--------	-----------	-----------

(単位:%)

貸出金残高比	破綻先債権額	0.06	0.01	0.01	0.05	0.05
	延滞債権額	1.76	△0.03	△0.17	1.79	1.93
	3カ月以上延滞債権額	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	貸出条件緩和債権額	0.05	0.02	0.00	0.03	0.05
	合計	1.88	0.01	△0.15	1.87	2.03

【連結】

(単位:百万円)

		2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
リスク管理債権	破綻先債権額	603	104	51	499	552
	延滞債権額	18,516	△321	△1,381	18,837	19,897
	3カ月以上延滞債権額	106	69	32	37	74
	貸出条件緩和債権額	533	233	47	300	486
	合計	19,758	83	△1,253	19,675	21,011

(部分直接償却額) (3,160) (△181) (△824) (3,341) (3,984)

貸出金残高(未残)	1,051,414	1,470	19,084	1,049,944	1,032,330
-----------	-----------	-------	--------	-----------	-----------

(単位:%)

貸出金残高比	破綻先債権額	0.06	0.01	0.01	0.05	0.05
	延滞債権額	1.76	△0.03	△0.17	1.79	1.93
	3カ月以上延滞債権額	0.01	0.01	0.00	0.00	0.01
	貸出条件緩和債権額	0.05	0.02	0.00	0.03	0.05
	合計	1.88	0.01	△0.16	1.87	2.04

4. 償却・引当基準と引当状況【単体】

自己査定債務者区分		金融再生法区分		償却・引当方針
破綻先		破産更生債権及びこれらに準ずる債権		担保・保証等により保全のない部分に対し100%を償却・引当
実質破綻先				
破綻懸念先		危険債権		担保・保証等により保全のない部分に対し、過去の貸倒実績率に基づき、今後3年間の予想損失額を引当。また、与信額が一定額以上の大口債務者のうち、合理的にキャッシュ・フローを見積もることができる債務者に対する債権についてはDCF法により引当
要注意先	要管理先	要管理債権		担保・保証等により保全のない部分に対し、過去の貸倒実績率に基づき、今後3年間の予想損失額を引当。また、与信額が一定額以上の大口債務者のうち、合理的にキャッシュ・フローを見積もることができる債務者に対する債権についてはDCF法により引当
	その他の要注意先	正常債権	一般先	貸倒実績率に基づき、今後1年間の予想損失額を引当
			DDS先	市場価格のない株式の評価方法に準じた方法や当該債務者に対する金銭債権全体について、優先・劣後の関係を考慮せずに算定された予想損失率を用いる方法等により算出した予想損失額を引当
正常先				貸倒実績率に基づき、今後1年間の予想損失額を引当

5. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(単位：百万円)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比		
貸倒引当金	4,303	△8	△178	4,311	4,481
一般貸倒引当金	1,362	37	△121	1,325	1,483
個別貸倒引当金	2,940	△46	△58	2,986	2,998

【連結】

(単位：百万円)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比		
貸倒引当金	4,455	13	△166	4,442	4,621
一般貸倒引当金	1,429	42	△123	1,387	1,552
個別貸倒引当金	3,025	△30	△44	3,055	3,069

6. 自己査定状況【単体】

(単位:百万円)

債務者区分		分類状況				
		債権残高	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先		602	481 (216)	121	— (3)	— (261)
実質破綻先		3,988	2,539 (1,318)	1,448	— (375)	— (844)
破綻懸念先		14,692	8,908 (7,484)	2,654	3,130 (4,553)	—
要 注 意 先	要管理先	676	83	592	—	—
	その他の要注意先	106,457	33,318	73,139	—	—
正常先		936,734	936,734	—	—	—
合計		1,063,152	982,065	77,956	3,130	—

- (注) 1. ( )内は引当前の分類金額  
 2. 部分直接償却額 3,160百万円処理後の計数

7. 自己査定・保全の状況と開示債権【単体】

(単位:百万円)

自己査定と保全の状況					金融再生法開示債権		リスク管理債権	
債務者区分	残高	保全額	引当金	保全率	区分	残高	区分	残高
破綻先	602	337	265	100.00%	破産更生等債権	4,590	破綻先債権	594
実質破綻先	3,988	2,767	1,220	100.00%			延滞債権	18,514
破綻懸念先	14,692	10,139	1,423	78.70%	危険債権	14,692		
要 注 意 先	(うち要 管理債 権) (638)	(154)	(55)	(32.83%)	要管理債権	638	3カ月以上 延滞債権	105
							貸出条件緩 和債権	533
	要管理先	676	189	55	36.18%	小計	19,922	合計
	その他の要 注意先	106,457			正常債権	1,043,230		
正常先	936,734							
合計	1,063,152				合計	1,063,152		

8. 業種別貸出状況等

(1) 業種別貸出金【単体】

(単位：百万円)

業種	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
		2019年3月末比	2018年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	1,051,757	1,545	19,124	1,050,212	1,032,633
製造業	83,080	1,603	5,992	81,477	77,088
農業, 林業	5,693	△438	△627	6,131	6,320
漁業	458	96	△61	362	519
鉱業, 採石業, 砂利採取業	1,367	145	85	1,222	1,282
建設業	51,428	△966	360	52,394	51,068
電気・ガス・熱供給・水道業	7,810	488	1,482	7,322	6,328
情報通信業	4,409	174	581	4,235	3,828
運輸業, 郵便業	19,492	△328	△636	19,820	20,128
卸売業, 小売業	73,120	△592	1,362	73,712	71,758
金融業, 保険業	89,544	△6,185	△8,403	95,729	97,947
不動産業, 物品賃貸業	156,719	△1,087	730	157,806	155,989
サービス業等	92,358	△1,636	515	93,994	91,843
地方公共団体	142,290	4,701	7,660	137,589	134,630
その他	323,984	5,573	10,086	318,411	313,898

(2) 業種別リスク管理債権【単体】

(単位：百万円)

業種	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
		2019年3月末比	2018年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	19,747	84	△1,252	19,663	20,999
製造業	2,799	392	183	2,407	2,616
農業, 林業	88	△3	△30	91	118
漁業	—	—	—	—	—
鉱業, 採石業, 砂利採取業	134	△1	△13	135	147
建設業	2,517	△460	△822	2,977	3,339
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—
情報通信業	473	427	422	46	51
運輸業, 郵便業	571	69	103	502	468
卸売業, 小売業	3,325	△131	△12	3,456	3,337
金融業, 保険業	0	△0	△0	0	0
不動産業, 物品賃貸業	1,018	1	△292	1,017	1,310
サービス業等	4,340	△216	△404	4,556	4,744
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	4,476	5	△387	4,471	4,863

(3) 消費者ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
		2019年3月末比	2018年9月末比		
消費者ローン残高	308,561	6,122	11,779	302,439	296,782
うち 住宅ローン残高	286,738	5,821	10,862	280,917	275,876
うち その他ローン残高	21,823	301	918	21,522	20,905

(4) 中小企業等貸出比率【単体】

(単位：%)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
		2019年3月末比	2018年9月末比		
中小企業等貸出比率	75.45	△0.85	△1.37	76.30	76.82

9. 預金等、貸出金の残高【単体】

●預金等(預金+譲渡性預金)の残高は、2018年9月末比50億50百万円減少し、1兆3,953億15百万円となりました。  
 ●貸出金の残高は、住宅ローンを中心に消費者ローンが増加したことなどにより、2018年9月末比191億24百万円増加し、1兆517億57百万円となりました。

(1) 末残

(単位：百万円)

	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
預金等(預金+譲渡性預金)	1,395,315	22,433	△5,050	1,372,882	1,400,365
うち新潟県内	1,242,573	29,504	△8,720	1,213,069	1,251,293
貸出金	1,051,757	1,545	19,124	1,050,212	1,032,633
うち新潟県内	709,641	5,742	18,539	703,899	691,102

(2) 平残

(単位：百万円)

	2019年9月期	2019年3月期比	2018年9月期比	2019年3月期	2018年9月期
預金等(預金+譲渡性預金)	1,351,011	6,500	6,494	1,344,511	1,344,517
うち新潟県内	1,207,663	4,102	4,281	1,203,561	1,203,382
貸出金	1,030,515	14,671	24,685	1,015,844	1,005,830
うち新潟県内	689,438	11,577	18,710	677,861	670,728

10. 預り資産(末残)の状況【単体】

●預り資産の残高は、保険が順調に増加した結果、全体では2018年9月末比49億22百万円増加し、1,355億35百万円となりました。

(単位：百万円)

	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
預り資産	135,535	2,223	4,922	133,312	130,613
投資信託	40,631	432	271	40,199	40,360
公共債	13,538	△1,036	△2,517	14,574	16,055
保険	81,365	2,827	7,168	78,538	74,197

### Ⅲ. 有価証券の評価損益

●有価証券全体の評価損益は、単体・連結ともに144億8百万円の評価益となりました。

#### 1. 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益処理)	
満期保有目的有価証券	償却原価法(定額法)	
その他有価証券	時価のあるもの	時価法(評価差額を全部純資産直入法処理)
	時価を把握することが極めて困難と認められるもの	原価法
子会社株式及び関連会社株式	原価法	

(注) 単体・連結ともに同一の基準であります。

#### 2. 評価損益

【単体】

(単位:百万円)

	2019年9月末 評価損益	2019年3月末比		2019年3月末 評価損益	2018年9月末 評価損益
		2019年3月末比	2018年9月末比		
満期保有目的	△63	△21	△31	△42	△32
その他有価証券	14,471	1,710	△3,627	12,761	18,098
株式	4,508	△28	△1,747	4,536	6,255
債券	4,528	△105	668	4,633	3,860
その他	5,434	1,842	△2,547	3,592	7,981
合計	14,408	1,689	△3,658	12,719	18,066
株式	4,508	△28	△1,747	4,536	6,255
債券	4,465	△125	637	4,590	3,828
その他	5,434	1,842	△2,547	3,592	7,981

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(中間)貸借対照表計上額と取得価額(又は償却原価)との差額を計上しております。

2. 「その他有価証券」の評価については(中間)決算日の市場価格等に基づいております。

3. 2019年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額は、10,170百万円であります。

【連結】

(単位:百万円)

	2019年9月末 評価損益	2019年3月末比		2019年3月末 評価損益	2018年9月末 評価損益
		2019年3月末比	2018年9月末比		
満期保有目的	△63	△21	△31	△42	△32
その他有価証券	14,471	1,710	△3,627	12,761	18,098
株式	4,508	△28	△1,747	4,536	6,255
債券	4,528	△105	668	4,633	3,860
その他	5,434	1,842	△2,547	3,592	7,981
合計	14,408	1,689	△3,658	12,719	18,066
株式	4,508	△28	△1,747	4,536	6,255
債券	4,465	△125	637	4,590	3,828
その他	5,434	1,842	△2,547	3,592	7,981

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(中間)連結貸借対照表計上額と取得価額(又は償却原価)との差額を計上しております。

2. 「その他有価証券」の評価については(中間)連結決算日の市場価格等に基づいております。

3. 2019年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額は、10,170百万円であります。



## IV. 2020年3月期業績予想

●2020年3月期の業績予想(単体・連結)につきましては、2019年5月10日公表の予想に変更ありません。

## 1. 単体

(単位:百万円)

	2020年3月期予想		2019年3月期実績
		2019年3月期比	
経常利益	3,250	△592	3,842
当期純利益	2,000	△532	2,532

## 2. 連結

(単位:百万円)

	2020年3月期予想		2019年3月期実績
		2019年3月期比	
経常利益	3,320	△622	3,942
親会社株主に帰属する当期純利益	2,030	△549	2,579

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。